



実践的な学び合いの場で育むミライ

Student Voices

挫折を越えてたどり着いた、達成の2年間

私は2年間南山城村の活動に取り組み、今年度はリーダーとしての役割を担いました。リーダーとして集客面や自治体の方々とのやり取りの中で挫折しかけたこともありましたが、ゼミ生の仲間に支え助けてもらいました。今年度は「イベント開催」という形で終えることができ、後悔なく締めくくることができたと感じています。年度末の村長への報告会や京都府への報告会にて胸を張って報告することができたことも大きな達成感につながりました。報告会では、私たちの活動に対して率直なご意見もいただき、新たな気づきや発見もありました。発表やディスカッションを通じて私たちのプロジェクトにとても興味を持って下さる方もいらっしゃいました。

南山城村のことを何も知らない状態からのスタートでしたが、この2年間を通して、活動を重ねる中で村の魅力や好きな場所も増えていきました。ぜひ、まだ南山城村を知らない方には一度足を運んでみてほしいと思います。

大阪国際大学 経営経済学部 経営学科
大道 翔太 さん

実現の難しさから学んだ、地域活性化の本質

私たちは2年間のゼミ活動やPBLを通して、地域活性化のための企画・運営について実現することの難しさを学び、物事を多方面から現実的に考える力や、自ら考えて行動する姿勢の大切さも身についたと感じています。昨年度はリーダーの役割を経験させていただき、地域の自然や観光資源を活かした融合イベントを考えました。しかし実際には企画するだけでは人は集まらず、効果的な宣伝や「参加したい」と思ってもらえる工夫が必要だと感じました。今年度はサポート役に回りましたが、昨年度の経験を活かして様々な場面で貢献できたと思います。こうした多くの経験を通して、地域活性化には実現可能性と継続性を考えた計画が重要であると学びました。

2年間の活動から得た学びや成長はこれからの人生にも生きてくると思います。今後も相手の立場に立って考え課題に挑戦し乗り越えられるよう取り組んでいきたいです。

大阪国際大学 経営経済学部 経営学科
橋本 凜 さん

試行錯誤を重ねて築いた、確かな成長

私は2年間の南山城村での活動や村長報告会、京都府報告会にて発表・報告する機会をいただき、大きな達成感と充実感を得ることができました。1年目は地域を知ることからのスタートで、現状や課題を学びながら試行錯誤を重ね「自分たちに何ができるのか」を何度も考えました。そして、リーダーとしての経験が何よりも自信となりました。2年目は1年目の課題をもとに改善を重ね取り組みました。これまで住民との交流が十分にできませんでした。今年度はアンケートを通して実際に住民の方の声を聞くことができました。自分たちの活動を知っていただけのこと、住民の方の温かさに直接触れられたことは、とても印象に残っています。

2年間の活動を通して、たくさんの気づきと成長を実感することができました。思うようにいかないこともありましたが、それも含めて大切な経験だったと感じています。この経験をこれからの学びや将来にしっかりと生かしていきたいです。

大阪国際大学 経営経済学部 経営学科
木村 心優 さん

住民の声から気づいた、地域づくりの本質

私は2年間、南山城村でのゼミ活動やPBLに取り組んできました。今年度はリーダーとして活動し、イベント企画や自治体との調整、住民へのヒアリング等に関わりました。悩むことも多々ありましたが、ゼミの仲間と協力しながら取り組むことで、最終的にはイベントを開催することができました。住民ヒアリングでは、住民の方々の生の声を直接聞く中で、観光に対する期待だけでなく、不安や課題も存在していることを知りました。そして、地域づくりには住民の声を丁寧に拾うことが不可欠であると学びました。また、村長報告会や京都府報告会において活動成果を発表・報告する機会もあり、自分たちの取り組みが多くの方に関心を持っていただけたことを実感しました。

2年間の活動を通して、地域活性化には企画だけでなく、地域住民との連携や継続的な取り組みが重要であることを学びました。南山城村での経験は、物事を多角的に考え、自ら行動する力を身につける貴重な機会となりました。

大阪国際大学 経営経済学部 経営学科
松本 要 さん

学生の挑戦が生む価値とつながり

スポーツビジネスコースでは、これまで他学部・他学科の教員や学生をはじめ、地域・企業・自治体の皆様にご協力を賜りながら、さまざまな実践活動に取り組んできました。PBL活動を通じて、学生主体による企画・運営・調査・発信を行い、地域に新たなつながりや価値を生み出し成果を残しています。今後も新たな展開や挑戦を重ねながら、実践的な学びを社会へ広げる活動を続けていきます。

大阪国際大学 経営経済学部 経営学科 スポーツビジネスコース 西田 千裕 主任

大阪国際大学
大阪国際大学短期大学部

南山城村
MINAMIYAMASHIRO VILLAGE



@ Minamiyamashiro Village

ともに あるき つなぎ つくる 自然が薫る村の魅力

南山城村 標語
「自然が薫り 絆が生きる 自立するむら! みなみやましろ」

宇治茶の主産地 南山城村で 出会い 育む 地域や世界に通じる「社会的価値」と「人間力」



大阪国際大学
大阪国際大学短期大学部
地域協働センター
〒570-8555 大阪府守口市藤田町 6-21-57



HP



YouTube



Instagram

南山城村
MINAMIYAMASHIRO VILLAGE



HP



Instagram

発行 2026 年 4 月 1 日

京都府の補助金事業に8年連続採択
(2018年度～2025年度)

大阪国際大学 経営経済学部 経営学科
スポーツビジネスコース 横山 誠 ゼミ
地域協働センター



地域を越え 世代を越えて 育む 南山城村の魅力



2015年 交流拠点『高尾 憩の村宿 薫笑庵』の開庵式

奥田理事長を始めとした教職員、学生50名程が出席
南山城村より、村長を始め役場幹部や高尾地区にお住まいの皆様約20名がご出席。



Oは地球と和を、
Iは人と自律を、
Uは地球をめぐる世界的な発想、未来への指向と前進を表します。
Osaka International University (OIU)

沿革
2008年 村内で学生をインターンシップで受け入れていただく
2013年 南山城村と包括連携協定を結ぶ
2015年 交流拠点『高尾 憩の村宿『薫笑庵（くんしょうあん）』』を開設。
2017年～2025年 本冊子で活動をご紹介します

南山城村とともに歩む、学生の実践的学びと挑戦のプロジェクト

本学が取り組んできた南山城村プロジェクトは、南山城村より「観光促進や地域活性化につながるアクティビティ開発」に関する依頼を受けて始動しました。地域協働センターと連携し、村内の観光資源を巡りながら、日本遺産「日本茶800年の歴史散歩」構成文化財の景観と豊かな自然を体感できるウォーキングコースの開拓を行いました。かつてオリエンテーリングで使用されていたコースを一部活用しましたが、原野に戻っていたため学生とともに手作業で整備を進めました。暑い日も寒い日も、雨の日も雪の日も学生達は楽しみながら活動してくれました。

ウォーキングコースが完成し、本格始動を迎える直前に新型コロナウイルス感染症が猛威を振るい、拠点となる施設が閉鎖される事態となりました。しかし「何もできない時だからこそできることがある」という発想のもと、プログラムの質向上に注力し、事業化や収益化、雇用促進を見据えたビジネスモデルの検討を進めました。道標やベンチの設置、地域の歴史・文化を学べるクイズラリーを整備し、さらに「村内周遊」をテーマとしたサイクリング&ロゲイングの新たなプログラム開発にも挑戦しました。

これらの活動を通して学生たちは大きく成長しました。それは本学単独で成し得たものではなく、自治体や地域の皆様のご理解とご協力があったからこそです。温かく見守りながら、ときに教育的な指導や助言をくださった学内の教職員、ならびに学内外の理解者・協力者の皆様、全ての関係者の皆様に、心より感謝申し上げます。



経営経済学部 経営学科
横山 誠 教授



地域協働活動事例集

絆のメモリー

から抜粋

「南山城村ウォーキングコース」プロジェクト始動!
村の景観を活かしたウォーキングコースを開発して
「村外からの誘客と健康づくり」を目的としたプロジェクト



経営学科スポーツビジネスコースの学生らによる
南山城村活性化プロジェクト

京都府の補助金事業「人・まち・キャンパス連携支援事業」 「自然×健康」で南山城村を活性化。
一学生が復活させたウォーキングコースを活用した新たな取り組み



1. ウエルネスウォーキング講習会 (自然と健康をテーマとした講習会)
2. ヨガ講習会 (ウォーキングの新たな付加価値)
3. PR 動画の制作 (村外へのウォーキングコースの紹介・魅力発信)
4. 南山城村村長 平沼様への報告会

2022

大学・学生の力発揮推進事業
成果報告会で西脇京都府知事と共に
京都府の補助金事業について、京都府での成果発表
の場である成果報告会において学生が発表しました。



1. 南山城村ウエルネスウォーキングの新展開
(来場者へウエルネスウォーキング&足湯のおもてなし)
2. 南山城村プロジェクト3年計画達成
(幻の里道を蘇らせ、観光客を誘致した学生の挑戦の軌跡)
3. 南山城村で品評会の出品茶摘み体験
(地域協働センター行事)

南山城村村長へ京都府補助金事業による実践的な活動のご報告
「サイクリングとロゲイニングの融合による村内周遊サイクリングコース開発」
京都府補助金事業で7年連続採択



1. 相楽東部未来づくりセンターとの連携活動
2. 京都府知事 西脇様へ実践活動のご報告「大学・学生とともにのぼす
京都プロジェクト共同事業」の成果報告会で登壇発表
3. 高級ブランド茶で有名な南山城村の茶園で出品茶摘み
(地域協働センター行事)

2024

2025

京都府「大学・学生とともにのぼす京都プロジェクト」成果報告会
一京都府副知事に報告「2年間 PBL 活動と成果をポスター発表」(経営学科)一



本学は2018年より南山城村の体験型観光の促進やアクティビティの開発等に取り組み、多くの学生の手作業により村内に森林ウォーキングコースを開拓しました。2025年度は、ウォーキングの取り組みや成果、課題を踏まえ、活動領域を更に拡大し村内周遊の「サイクリング&ツーリング×ロゲイニング」を実施しました。加えて、住民へのヒアリングから、今後の観光促進や地域活性化の可能性を探りました。

2018

2017

2019

宇治茶の主産地で幻の里道を蘇らせる
10年以上前に使用されていた里道の痕跡を手掛かりに、GPSを活用して山中に入り、倒木撤去、道幅拡幅を行い、快適なウォーキング可能な状況にしました。



1. ブレックパズ部によるコースの整備・道幅 拡幅
(倒木撤去、ぬかるみ・斜面の補修)
2. 幼児保育学科生がデザインした道標を
ブレックパズ部がコースに沿って設置

2021 経営学科スポーツビジネスコースの学生らによる
南山城村活性化プロジェクト



京都きづ川アクティビティキャンペーンの
イベントマネジメントに参画

今年度は初めて一般向けイベントに参加し、学生が運営にも携わる貴重な学びの機会となりました。参加者や地域関係者からも高い評価を得て、今後の継続参加にも期待が寄せられました。



1. 学生、役場、合同会社南山城観光で作った
「森林ウォーキングマップ」
2. イベントマネジメント参画 (村長が応援)
3. リサーチプロジェクトで受賞
4. 村長平沼様へ報告
5. 日本遺産「日本茶 800 年の歴史散歩道」で
学生が観光振興に協力
(地域協働センター行事)

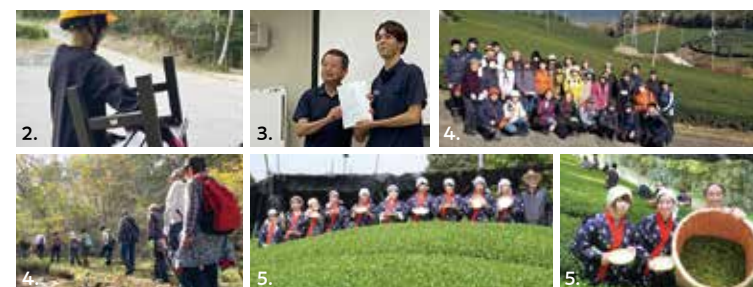


2023

南山城村村長へ学生が京都府補助金事業における
実践的な活動のご報告
一「南山城村ウォーキングコース開拓プロジェクト」効果検証の成果一



1. 「学生とともにのぼす
京都プロジェクト共同事業」の
成果報告会



2. 道の整備、椅子の設置 7月～10月
3. ウエルネスウォーキング講習会受講、修了書の授与
4. 地元の方々と共に開拓した「森林ウォーキングコース」の効果検証
5. 高級ブランド茶で有名な南山城村の中産製茶園で出品茶摘み体験
(地域協働センター行事)



サイクリングとロゲイニングの融合！
村内周遊サイクリングコース開発 MAP



名所も風景も思わぬ寄り道も――

この MAP に並ぶ番号は、学生たちが実際に走って見つけたスポットの位置を示しています。サイクリング×ロゲイニングの手法で開発した周遊コースで、“ひとことメモ”をヒントに村を自由にめぐれば、名所から絶景、ローカルスポットまで発見が続きます。学生目線の気づきとともに南山城村をお楽しみください。

1. 本郷コミュニティセンター	地域の交流拠点・休憩にも◎
2. 南山城村水害記念像	災害の記憶を伝えるモニュメント
3. 国津神社 & 春光寺	歴史と静けさが残る寺社エリア
4. みっしーのばん	人気の地元ベーカリー
5. 大河原大橋	木津川を望む大きな橋
6. 関西電力 大河原発電所	村の産業を支える発電施設
7. 恋路橋	ロマンチックな撮影スポット
8. 恋路谷神社	恋路の名が残る小さな神社
9. 峪谷	谷の景観が心地よい自然地帯
10. 雄谷	深い緑が続く溪谷風景
11. 無紋峡	切り立つ岩肌が見どころの峡谷
12. 道の駅	村の特産や休憩に最適な拠点
13. 月ヶ瀬口駅	JR でアクセスできる玄関口
14. 六所神社	六柱の神を祀る由緒ある神社
15. 笹瀬橋	川辺の景色が美しい橋
16. レイクフォレスト	レジャー & ゴルフが楽しめるリゾート
17. 田山・ツルギの茶畑	美しい茶畑の広がる絶景地
18. 高山ダム	巨大ダムの迫力を感じるスポット
19. 高山ダム見晴らしゾーン	ダム全景を眺められる展望エリア
20. 体験 plaza	村の体験型アクティビティ拠点

21. カフェゼブン	車好きが集まるユニークなカフェ
22. 田山ふれあい広場	地域の憩いスペース・休憩に◎
23. 諏訪神社	古社の雰囲気が残る落ち着いた神社
24. ねこパン	口コミで人気の可愛いパン屋
25. 高山橋	川と山並みを望む風景の名所
26. 日の出の滝	滝の清涼感が魅力の自然名所
27. 旧高尾小学校	地域の歴史を感じる旧校舎
28. 高尾公民館	地域活動の中心となる施設
29. 春日神社	集落に根づく伝統ある神社
30. 桃香野 バス停	休憩にも便利なバス停ポイント
31. 龍王の滝	水音が心地よい神秘的な滝
32. 湖畔の里 つきがせ	湖畔の景観と特産品を楽しめる施設
33. 月ヶ瀬カントリークラブ	自然に囲まれたゴルフ場
34. 月ヶ瀬梅林	春には梅の絶景が広がる名所
35. 月ヶ瀬温泉ふれあい市場	温泉と特産市が一緒に楽しめる
36. 三国展望台	奈良・三重・京都を望む展望スポット
37. うえだブルーベリー畑	季節に実るブルーベリー農園
38. 弁天池	静かな水面が美しい池
39. 童仙房生涯学習センター	高原集落の学びと交流拠点
40. 高麗寺園	自然に囲まれた静かな寺院跡エリア

 走行中に思わず立ち止まりたくなる、南山城村ならではの風景を楽しめる眺めの良いスポットです。

京都・唯一の村
南山城村
観光案内図は
こちらから！



JR 大河原駅周辺



「サイクリング & ツーリング × ロゲイニング」
による魅力拡大

2018 年に始動した南山城村プロジェクトは、森林ウォーキングやウエルネスウォーキング、クイズラリーなどを通じて、多様な参加者による効果検証を重ねてきました。2024 年度からはサイクリングを取り入れたロゲイニングに挑戦し、交流・関係人口の拡大や事業化、雇用創出につながる新たなモデルづくりを進めています。

京都府唯一の村である南山城村は、森や川、茶畑の風景、恋志谷神社、全国的に注目を集める道の駅など、観光資源に恵まれた地域です。その魅力を生かし、アウトドアレクリエーションとしてのロゲイニングイベントを 2 年越しで実現しました。



自然と歴史・文化を感じながら歩く
川ベリウエルネスウォーキング

【コース全長：約2.19km】

豊かな自然、レトロな建造物、歴史や文化を感じるパワースポット、
珍しい沈下橋、地元の味覚を楽しめるスポットなど・・・
お散歩感覚で楽しく歩き、五感を通して南山城村が満喫できます。



①恋路橋 (こいじばし)

木津川に架かる「恋路橋」は、正式名称を大河原橋という沈み橋。増水時には川に沈む独特の構造で、昭和20年に地元の花崗岩で造られました。川面すれすれを渡る感覚がユニークで、まるで水の上を歩いているよう。橋を渡った先には縁結びで知られる恋志谷神社があり、「恋の道＝恋路橋」として親しまれています。



⑥南山城村農林産物直売所

南山城村の生産者が育てた新鮮な野菜やお茶、原木栽培しいたけ、味噌・こんにゃく・漬物・お茶加工品など、地域ならではの豊富な品揃えが特徴です。採れたて野菜や季節の加工品などが揃い、四季折々の「直売所まつり」などのイベントも開催され、地元の雰囲気と味が楽しめます。



⑤やまなみホール

1991年に完成した音楽ホールで、建築家 黒川紀章氏が設計しました。外観デザインは「山並み」をモチーフとしており、緑豊かな環境に溶け込むよう作られています。音響効果にも優れており、クラシック音楽の演奏会だけでなく、能や津軽じょんがら節といった日本の伝統芸能の公演も積極的に開催されています。



④彌陀磨崖仏 (みだまがいぶつ)

岩壁に直接彫られた花崗岩製の立像で、室町時代中期の造立と考えられています。像高は約92cmで、通称「めろくさん」とも呼ばれています。特徴として、やや角ばった顔立ち、なで肩の体軀、衣の裾が左右に広がる構えが見られ、岩肌溶け込むような静かな風合いを持っています。



③大河原発電所

1919(大正8)年に完成した水力発電所で、建築様式にアールヌーボーの影響を受けたレンガ造りの本館が特徴です。川の蛇行を活かし、堤・隧道・水槽などを組み合わせた水路式(流込み式)発電方式で建設され、2025年現在も電力を送る現役施設として運用されています。春には桜とレンガの建物、川の風景が調和し、美しい景観スポットとしても人気です。



②恋志谷神社 (こいしだにじんじや)

かつての後醍醐天皇の側女が天皇に会えぬままこの地で命を絶ったという伝説に由来し、良縁・安産の神社として知られています。明治期に鳥居をくぐり石段を登った場所に移され、朱色の柱が目印です。

【ウエルネスウォーキングの歩き方】

- ①開始前後で血圧測定
- ②歩行前のストレッチ
- ③一定リズムの歩行
- ④目安とする心拍数
歩行時の目安とする心拍数は、運動の初期では、160-年齢を基本とする【心拍数測定】
心拍数は、15秒間の心拍数を測定し、4倍して1分間の心拍数を確認する。
出典：日本ウエルネスウォーキング協会 オリエンテーション資料

毎日新聞に掲載 経営経済学部の実践型 PBL

横山誠教授(経営学科)とスポーツビジネスコースの学生が中心となった京都府の補助金事業についてメディアから注目を集め、毎日新聞に掲載されました。



▲取材時に撮影



▲道標を担ぎ、変化が急なウォーキングコースに沿いに杭 30 本を打ち込む。



▲コース上の倒木の撤去。

宇治茶の産地として知られる京都府南部の南山城村に森林ウォーキングコースができた。コース作りの中心になったのは大阪国際大学(大阪府守口市)の学生ら。一面に広がる茶畑や「パワースポット」の巨岩、小さな滝などの見どころもあり、気軽に自然を楽しめる。

【斉藤員三郎】
大阪市内から電車で約90分。木津川と山々が織りなす景観を楽しみながら玄関口となるJR関西線月ケ瀬口駅へ。近くにはお茶やスイーツ、新鮮な野菜など、健康づくりなどを目的にコースの「開拓」を始めた5年前は、まさに道なき道だった。かつての里道の痕跡を手がかりに倒木の除去、草刈りから始めた。整備作業の主力となったのは防災のスキル向上と啓発、環境保全活動などに取り組む「プレパース部」の部員や、スポーツビジネスを学ぶ学生たち。部長で4年生の嵯峨根実紀さんやプロジェクトリーダーの同、梅

茶畑も楽し、学生ら整備 森林ウォーキング



▲掲載日：2022年10月6日(木) 毎日新聞より転載許可済み

◇南山城村森林ウォーキングコース

車なら駐車場やトイレがある「南山城村体験 Plaza (プラザ)」発着の周回コース(2・3キロ)や「道の駅 お茶の京都みなみやましろ村」発着の往復コース(約5キロ)が便利。ぬかるんでいる場所もあるので、トレッキングシューズなどが歩きやすい。コースの地図や写真などは、登山地図GPSアプリ「YAMAP (ヤママップ)」で確認できる。

取材後記

修験道のような実践

南山城村を含む山城地域は万葉集に自然景観の美しさが詠まれた地域であり、鳥の声は響き、川の瀬音は清く、清冽な滝が流れるなど、自然が薫り、微笑む地域である。

旬には観光などを学ぶ同大学短期大学部の学生らが考案した地元の歴史や特産品に関するクイズもコース上に設置。1年生のドブソン恵里奈さんらは「次は訪れた人を私たちが案内して、楽しんでもらいたい」と話す。学生らは今後四季折々のイベント開催を検討している。

南山城村は、学生の第二の郷土である。その懐は学園の建学の精神である「全人教育」の「人間を人間らしく育む教育」に通じる。いつも学生を大きな懐の中で育んでいたき、感謝を申し上げます。

地域協働センター 池田寛之

南山城村で広がる8年の挑戦と成果の軌跡

学生主体で広がる

地域連携プロジェクト



▲学生がクイズラリーのプログラムを作成(南山城村編、動植物編)



◀南山城村 森林ウォーキングコースマップ(日本語版、英語版)を学生・教職員で作成

本学の南山城村でのPBLは、南山城村(村長)からの依頼により、体験型観光に関するアクティビティ開発から始まり、その後、その活動はコロナ禍を経て8年連続で京都府の補助金を獲得するほどのPBLへと発展していきました。

その8年間の活動においては、多くの学生や教職員が参画してくれました。初期のウォーキングコース開発では、生い茂った枝葉を切り払い、下草を刈り込み、丸太で橋を架け、道幅を広げ、斜面には階段をつけるなど、プレパース部の学生達が奮闘してくれました。また、短期大学部幼児保育

学科の学生たちは、コース内の道標としてかわいいイラストを描いてくれました。その後は、経営学科スポーツビジネスコースの学生たちが中心となり、アウトドアツアーズによる地域活性化やイベントによる効果検証、ビジネスプランなどを検討し、短期大学部ライフデザイン学科観光・英語コースの学生達ともコラボし、地元の歴史・文化や身近な動植物クイズを考案し、パッケージプログラムとしてクイズラリーを完成させてくれました。

その後は、エリアの拡大やモビリティに着目したPBLへとシフトし、サイクリング×ログゲイングと題して自転車を活用したプログラムサービスを経営学科スポーツビジネスコースの学生が考案してくれました。また、スポーツ行動学科の学生達もゼミ活動の一環として参加してくれ、学生同士の交流の場ともなりました。このように、本プロジェクトには、学部学科の枠を超え多くの学生たち、教職員が参画してくれました。他にも、茶畑ヨガ、住民を対象とした体力測定、外国人グループへのト



▲コース上の「滝の広場」の清冽な滝。

プロジェクト参加卒業生の声

冒険から始まった学びと成長

今思い返すと本当に色々な思い出がありましたが、特にウォーキングコースの整備で印象に残っていることは南山城村の活動に初めて参加させていただいた時です。当時はコロナ禍だったので活動に制限があり、ウォーキングコースには木々や雑草がたくさん生い茂っていました。コースの様子を見に行くためコースに入りましたが、そのような状況を掻き分けて進むのが冒険しているみたいで本当に何もかもが新鮮に感じました。最初はこんな感じで参加していましたが、参加回数を重ねるうちにチームの連携や結束力、活動を通して防災の学びやスキルを習得するなど一言では表せないほど多くのことを学ばせていただきました。

様々な体験や学び以外にも人との繋がりもたくさんありました。部員以外の学生や地域の方との関わりの中で責任感や社会性を身に着けることができたと感じています。そのおかげで人前に出てあまり緊張せずにお話し出来るようになったことも私にとっては大きな成長となりました。それが現在の仕事でも役に立っています。

人間科学部 人間健康科学科 2023年度 卒業 福本 百花 さん

道なき道を切り拓いた3年間

私は大学4年間のうちこの南山城村に3年間ウォーキングコースの復旧と新規開拓というボランティア活動で関わらせていただきました。2年生の夏頃から始まったこの活動は、初めはまともな道もなく草木が生い茂り本当に道があるのかさえわからないものでした。そこを私含めプレパース部のみんなも協力し、なんとが昔あったであろうはずの道を探しつつそこを人が通れるように整備しました。真夏の暑い日には熱中症になりそうになりながら、また冬は凍るような寒さを感じながら作業をしました。しかしそんな辛い状況の中でもチーム一丸となって一つの目標に向かって活動することはとても素晴らしいものだとは思っています。その頑張りもあって、当初はできないと思っていた荒れ果てた道も整備することができたと思います。

1人では乗り切れないこともみんながいれば乗り越えられる。私はこの活動の中でチームワークの大切さを学びました。今は消防の仕事していますが、この活動で得られたことを大切に日々頑張っています。

人間科学部 スポーツ行動学科 2021年度 卒業 高橋 孝介 さん

南山城村プロジェクトの軌跡と想い

学生と地域の皆様、そして教職員の出会いから生まれた南山城村プロジェクト。
自治体や地域、大学の連携のもと歩みを重ねてきた軌跡を、
京都府知事、村長、関係者の皆様の声を通して振り返ります。



学生の挑戦が、 地域に新たな活力を生む

大阪国際大学の学生の皆様には、南山城村において、観光振興や地域の活性化のため、8年にわたり、ウォーキングコースやサイクリングコースの開発などに取り組んでいただいております。実際に地域に足を運び、地域の魅力を丁寧に掘り起こし、企画から運営まで主体的に取り組まれる姿勢は、地域の人々に大きな活力を与えるものです。
今後のさらなる挑戦が南山城村の地域ブランドの向上と交流人口の拡大につながることを大いに期待しております。

京都府知事 西脇 隆俊 さま



南山城村の未来を拓く 連携の軌跡

大阪国際大学との地域包括連携は、南山城村の未来への新たな一歩となりました。2013年から始まった取り組みは、地域を巻き込んで村の活性化に寄与し、多くの成果を生み出してきました。学生たちが村の魅力を再発見し、その思いを形にしてくださったことに感謝しております。
この取り組みの継続は、地域の課題改善を進め、世代を超えた交流や地域の絆の深化にも大きく貢献するものとなっています。南山城村の未来を拓く活動に心より感謝申し上げます。

南山城村長 平沼 和彦 さま



学生のまなざしが 地域に灯した新しい一歩

大阪国際大学の学生による南山城村でのPBL活動は、若者の新鮮な視点と積極的な取り組みが地域にも良い刺激を与え、大きな成果を生み出しました。地域住民との交流を通じて、学生が課題に真摯に向き合い、解決策を模索する姿勢は、私たち自治体にとっても大きな学びとなりました。
今後はこれまでの活動を基盤にし、さらに深い連携を築き、新たな挑戦によって地域の未来をともに創造していきたいと期待しています。

南山城村役場 産業観光課 課長 徳田 直樹 さま



地域と学生が ともに蒔いた未来への種

南山城村と大阪国際大学の連携を通じ、学生の皆さんが村で悩み、挑戦する姿を間近で見守ってきました。地域の方々に寄り添う難しさや集客の壁に直面しながらも、最後は住民の視点に立って活動を深めた経験は、将来の観光ビジネスにつながる大切な「種蒔き」です。
この学びを糧に皆さんが飛躍されることを期待するとともに、今後も大学との良きパートナーシップが続くことを願っています。

南山城村役場 産業観光課 課長補佐 岸田 いずみ さま



安全と安心を支えた、 5年間の伴走

南山城村を初めて意識したのは2018年1月期にご面会しました横山誠先生からお声がけいただいたのがきっかけです。それまでウォークラリーをはじめ各種ウォーキング催しを企画運営などしておりました。その後大阪国際大学地域協働センター「学外協力員」委嘱いただき2018年度から2022年度まで務めさせていただいています。この間現地活動では大学関係者と連携し関係学生に「安全・安心」の観点から助言・提案など行い子ども目線からの歩きやすさも追求していました。他方毎日新聞社知人記者の取材通じて2022年10月同社記事に掲載いただき外部にご紹介いただいたことはとても喜ばしく感じています。
結びに5年にわたり思い出深い「夢の時間」をいただきすべての関係者の方々に厚くお礼申し上げます。

伊藤 明彦 氏（2018年度～2022年度：学外協力員）



ゼロから切り拓いた、 森のウォーキングコース

南山城村に関わった一番の思い出は、なんと言ってもウォーキングコースの再発見と整備です。10年以上前はオリエンテーリングのコースがあったと聞き及び、南山城村の活性化に活用できないかと考え、コースの確認と整備に取り組むことになりました。最初は1m先にいる人も見えないほどに女竹や笹が生い茂った状態で、本当に道はあるのだろうか?ここを整備するのか・・・と思いました。取りあえず道を見つけた後は、学生さんの力も借りて手作業で整備を進めました。勾配が急なところには階段をつけたり、倒木を利用して橋を架けたりと、今思えばとてもハードな作業を行い、問題なく歩ける状態にしてから実際に地域の方や域外の方に歩いて頂き、改善が必要と感じる場所をチェックし、整備をしました。
今後は、地元の資源として地域の方々が整備を含め活用して頂けることを願っています。

元 大阪国際大学 准教授／プレッパーズ部 学外指導者
西岡 ゆかり 先生



体験から生まれた、 やさしい道しるべ

「南山城村健康ウォーキングコース開発」プロジェクトでは、幼児保育学科の学生が、10年以上前に使用されていた里道に残る道標を新たにデザインしました。制作に先立ち、学生たちは実際に南山城村を訪れ、モニターとして周回コースを散策しました。恋愛のパワースポットや茶畑での早乙女衣装体験、ピザ窯体験などを通して地域の自然や文化、人のあたたかさに触れました。その体験で得た楽しさや気づきをもとに、「歩く人にとって、親しみやすく、より分かりやすい道標にするにはどうすればよいか」と意見を出し合い、試行錯誤を重ねながら形にしていきました。
自ら体験し、仲間と協同して創り上げる学びは、保育における表現活動の土台や、「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿」（保育所保育指針、幼稚園教育要領、幼保連携型認定こども園教育・保育要領）にもつながっています。このプロジェクトは学生達にとって、実践的な学びの大切さを実感する機会となりました。

大阪国際大学短期大学部 幼児保育学科
渡邊 詩子 先生



自然の中で育まれた、 実践的な学び

南山城村で実施されたアウトドアアクティビティ開発と地域活性化のプロジェクトに学生とともに参加し、大自然の中での「学びの可能性」を改めて感じました。学生たちは、ウォーキングやサイクリングを通して、地域資源の魅力を体感し、さらに観光ビジネスの現場感覚を身につけることができました。特に、クイズを交えたウォークラリー形式の活動では、単に楽しんだり、知識を得るのではなく、参加者という立場から得た体験価値を今後どのように活かしていくかを考える貴重な機会となり、観光と教育の融合を実感していたように思います。また、普段の講義では得ることが難しいチームワークやコミュニケーション力、課題発見力などが自然な形で育まれたことは大きな成果でした。
今回の体験を通して、学生たちが地域と連携した実践的学びの重要性を理解し、将来のキャリア形成に向けた意欲や具体的な視点を深めることができたと感じています。

大阪国際大学 人間科学部 スポーツ行動学科
新村 由恵 先生



学びを形にする、 クイズと観光の融合

短期大学部 / ライフデザイン学科 / 観光・英語コースの学生たちが、南山城村の地域活性化を念頭に置き、観光地形成プログラムの一環として、南山城村にまつわる「クイズ」を考案し森林ウォーキングコース内に設置しました。本学が取り組む「森林ウォーキングコース」開発において、コース内に設置される道標（道案内板）に、南山城村に生息する動物・植物、また歴史や文化、史跡などの観光資源について、かわいいうイラストと共にクイズを作成しました。また、子供から大人まで誰もが南山城村にまつわる学びを得ながら森林ウォーキングを楽しんでもらえるよう自分たちも他学部学生と共に歩きコース整備に参画しました。クイズ作成にあたり、まず学生たちが京都府唯一の村である南山城村を理解するため、元村長さんから村にまつわる様々な詳しい解説付きガイドのもと森林ウォーキングを楽しみ、そのお話の中から学生たちが現地にて体感した内容を基にクイズを作成しました。
今後、森林ウォーキングを楽しみながら健康に留意し、都会疲れを癒すリフレッシュのため、多くの方々が南山城村を訪れて欲しいと願います。

大阪国際大学短期大学部 ライフデザイン学科
加藤 淳一 先生



交流が生む、 新しい地域の可能性

大学地域協働センターと横山、西岡両先生のご縁で、南山城村に関わる機会をいただいた。最初は関係人口、交流人口を増やすためのさまざまな取り組みの一つに婚活イベントを取り組めないかという目論見だった。周辺地域を案内してもらった際には、観光、交流資源の豊富さに感動し、その魅力をゼミ学生とともに共有しようと現地研修に参加し、茶摘みから手もみ、試飲までの工程を体験し、学生の実践的な学びにつながる的同时に地域の産業や暮らしに触れる貴重な機会にもなった。また、古道を活用したウエルネスウォーキングや、アウトドア婚活といったスポーツと交流を組み合わせた取り組みにも関わり、自然や文化を生かした地域づくりの工夫を身近に感じる事ができた。特に長年実践してきた婚活イベントを横山ゼミが主体的に企画や運営に関わり、引き継いでくれたことを心から嬉しく思う。
南山城村での取り組みは、一連の活動から地域の方々の支えの大きさを実感するとともに、大学と地域が協働することの意義を改めて認識した。

大阪国際大学 名誉教授
高見 彰 先生

